

評価領域	保 健
------	-----

重点目標	環境美化に関する意識を高め、環境衛生に関する実践の態度を養う。	P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・空いたペットボトルがたびたび廊下や教室にある。 ・先生方が忙しい中、週番にあたりチェックしているが、忙しさを軽減したい。 	
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・週番を生徒の活動とし、生徒が積極的に校内の環境美化に関心を持つ活動としたい。 	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ①週番担当の生徒を定期的に集合させ、週番の活動を確認する。 ②生徒間で欠席・公欠の連絡調整をして、ホワイトボードの空欄をなくす。 	

具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ①クラスでの発言はないが、清掃状況は良好である。 ②職員が連絡調整しないと空欄は、なくなる。 	D
達成状況	職員が調整しないと、週番の欠席が出てしまう。職員が調整すると週番の欠席はなくなる。生徒の主体性で活動したいが、連絡調整するのは職員が行った方がよさそうだ。しかし、週番制度は定着し、各先生方の協力もあり、清掃状況は良好である。	

自己評価	(評価) B (根拠) 週番の定着は成されており、清掃状況は良好である。しかし、週番の活動の課題や清掃状況の確認がどのように清掃状況に反映しているかが見えにくい状況である。制度の見直し、改善が必要とされる。	C
------	--	---

↑ 評価基準 ↓

A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	A	週番日誌などから生徒の取り組みがよく見える。生徒の主体性を伸ばすために改善を加えながら今後も継続してもらいたい。また、エコ活動なども企画して行って欲しい。	C
------------	---	---	---

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	週番の活動は、定着したといえる。しかし、生徒が主体的に動いている状態とはいえない。生徒が主体的に動けるような週番活動とエコ活動に興味を持てるような活動を企画していきたい。	A
-----------------------	---	---